

12 倒産

倒産に関する相談は、4,136件で、前年度(1,254件)に比べて2,882件、3.3倍と大きく増加した。

これは、英会話教室やエステサロンの倒産が続き、長期に契約していた消費者から「返金はされるのか」「未消化分のサービスは提供してもらえるのか」といった相談が増加したことが要因である。

契約当事者の属性をみると、性別では「女性」が8割を占め、年代別では「20歳代」が30.7%、「30歳代」が29.9%とそれぞれ3割を占めている。前年度と比べると、20歳代と30歳代の件数の増加が著しいが、いずれの年代でも相談件数が増加している。職業別では、「給与生活者」が6割、「家事従事者」が2割を占めている。

支払方法では、「現金払」が34.3%、「個品割賦」が26.0%を占めているが、前年度と比べて「総合割賦」や翌月一回払いやボーナス一括払い等を含む「その他」の信用供与の割合が増加している。これは、クレジットカード等を利用した支払い方法が多かったことが影響している。

平均契約金額は「104万7千円」で、平均既払金額は「76万円」であった。

主な商品・役務でみると「外国語・会話教室」、「エステティックサロン」、「書道・茶道教室」、投資組合等への出資を含む「預貯金・証券等」、「学習塾」の倒産に関する相談が多く寄せられた。(表-62)

表-62 倒産相談内容別件数

単位：件

項目	19年度	18年度	項目	19年度	18年度		
相談件数	4,136	1,254	現金払	1,420	463		
性別	男性	428	他の前払式	458	69		
	女性	3,087	不明	434	174		
	団体	46	小計	2,312	706		
	不明	54	19				
年代別	19歳以下	77	10	支払方法別	自社割賦	21	5
	20歳代	1,168	237		総合割賦	173	14
	30歳代	1,137	251		個品割賦	1,077	336
	40歳代	654	146		その他	259	42
	50歳代	329	136		不明	60	22
	60歳代	249	157	小計	1,590	419	
	70歳以上	185	158	その他	借金契約	53	34
	不明	337	159	不明・無関係	181	95	
			平均契約金額(千円)	1,047	2,565		
職業別	給与生活者	2,282	516	平均既払金額(千円)	760	1,953	
	自営・自由業	193	95	主な商品・役務	外国語・会話教室	1,602	65
	家事従事者	719	278		エステサービス	935	103
	学生	293	43		書道・茶道教室	124	0
	無職	268	167		預貯金・証券等	114	102
	その他・不明	381	155		学習塾	103	3